

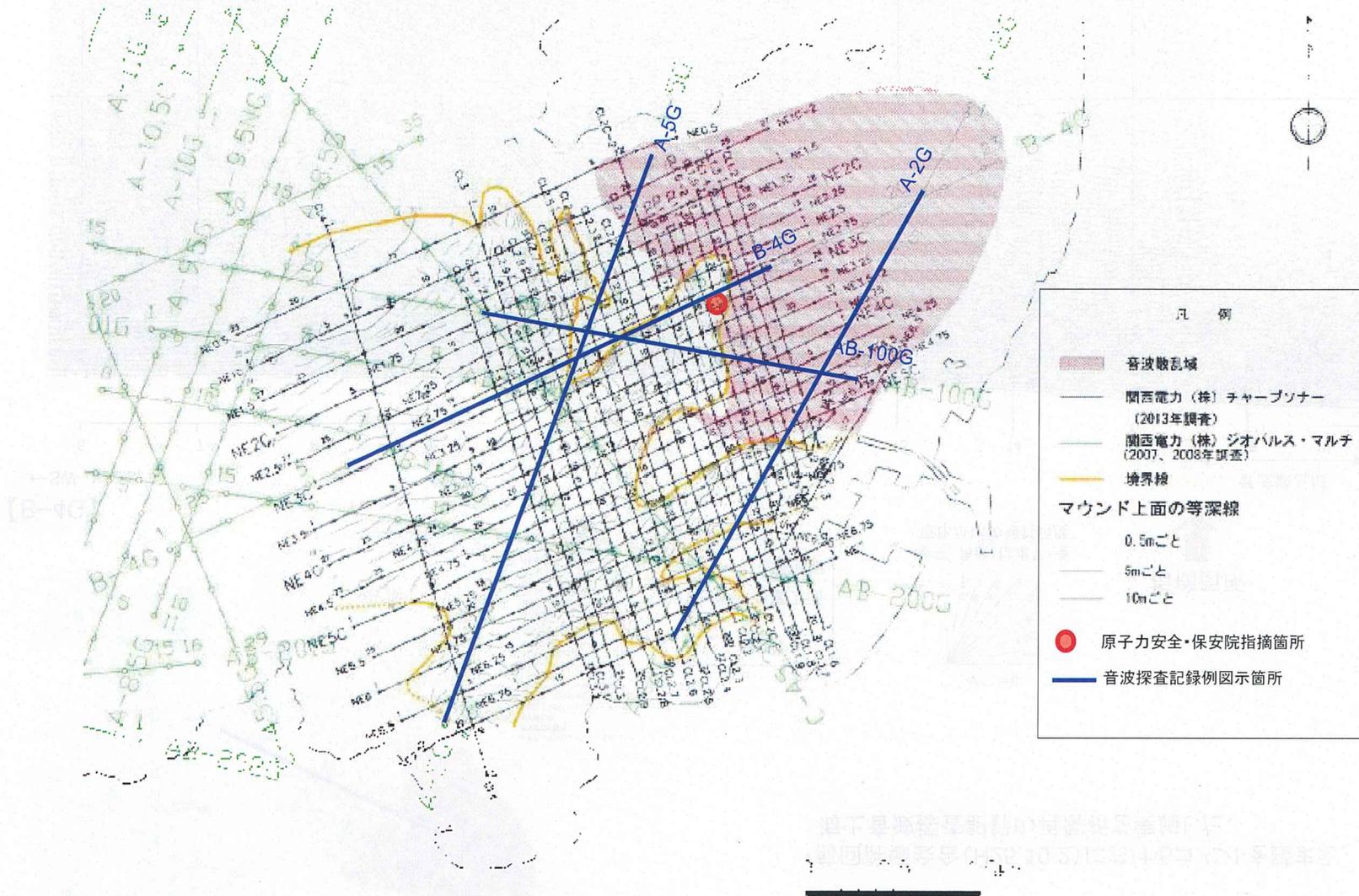
## ④海上音波探査結果の再検討

前回評価会合(H25.10.2)におけるコメントを踏まえ、ブーマー、ジオパルス及びGIガンの海上音波探査記録の再解析を行い、マウンド状の堆積構造、音波散乱域、及び指摘箇所付近の地質構造に関する再検討を行った。

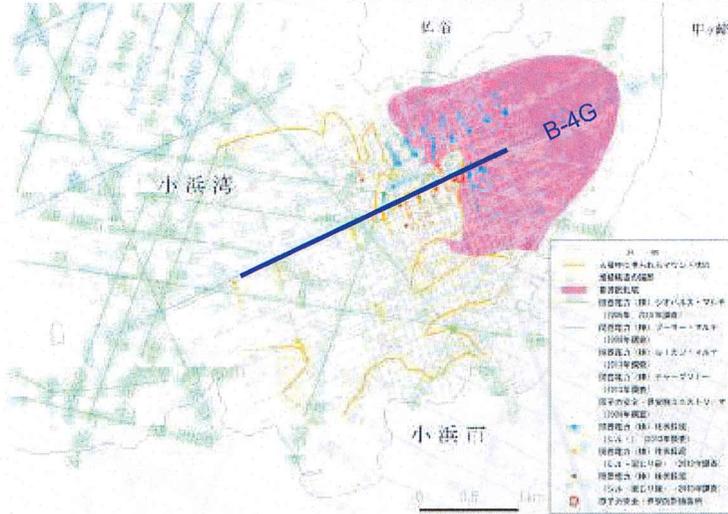
## ニアトレース・再解析の内容 (目的及び主な処理内容)

工 種	ブーマー・ジオパルス		GIガン
処理項目	ニアトレース	再解析	再解析
目 的	海底下浅部の構造をできるだけ観測データに近い状態で表示する。	ゲイン調整を改善し、コントラストを弱くすることにより、層相が見えるようにする。	堆積層中の変位・変形及びその累積性を議論できるよう記録の品質を向上させる。
主 な 処理内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振幅回復</li> <li>・バンドパスフィルター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲイン調整の変更</li> <li>・多重反射除去の追加</li> <li>・重合前デコンボリューションの変更</li> <li>・重合後デコンボリューションの追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲイン調整の変更</li> <li>・多重反射除去の追加</li> </ul>

# 海上音波探査結果の再検討(ブーマー)

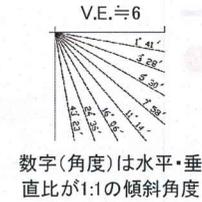


# 海上音波探査結果の再検討(B-4G:ブーマー、再解析前)

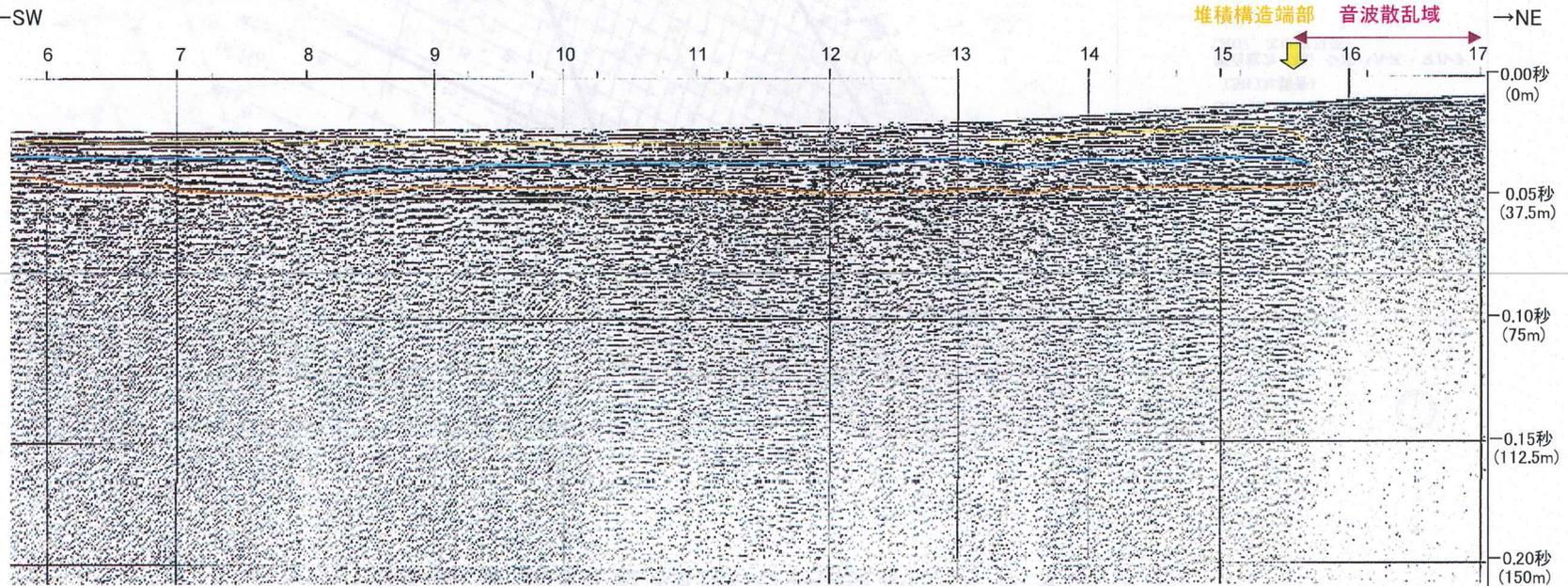


・前回評価会合(H25.10.2)におけるコメントを踏まえ、海上音波探査記録の再解析を実施した。

凡例  
 — B層上面  
 — C層上面



【B-4G】  
 ←SW



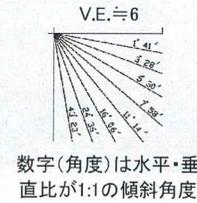
約250m

# 海上音波探査結果の再検討(B-4G:ブーマー、ニアトレース)



・海上音波探査記録の再解析(ニアトレース)を行った結果、浅層部の反射面が鮮明化した。

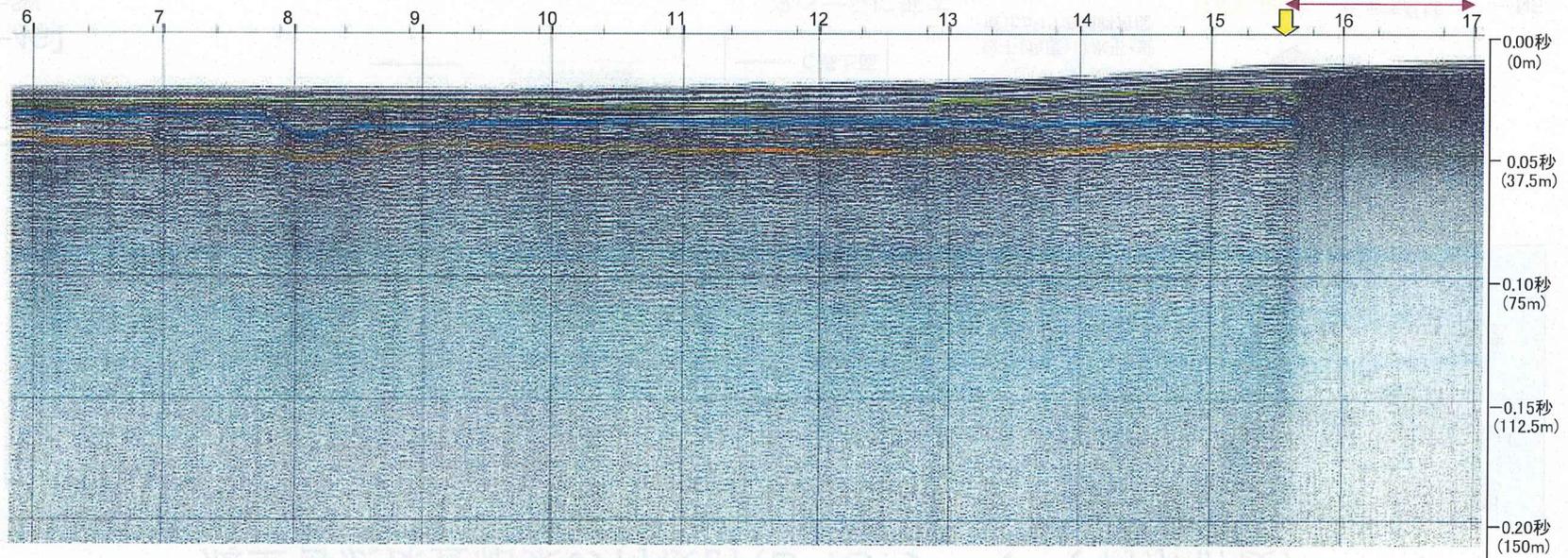
凡例  
 — B層上面  
 — C層上面



指摘箇所

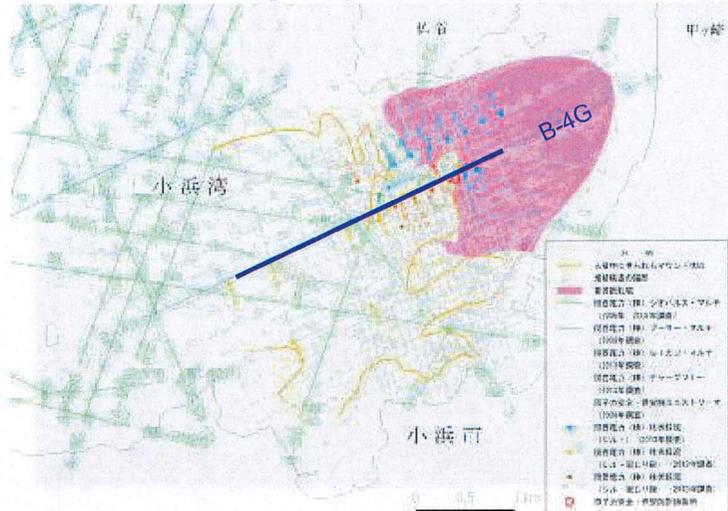


【B-4G】  
 ←SW



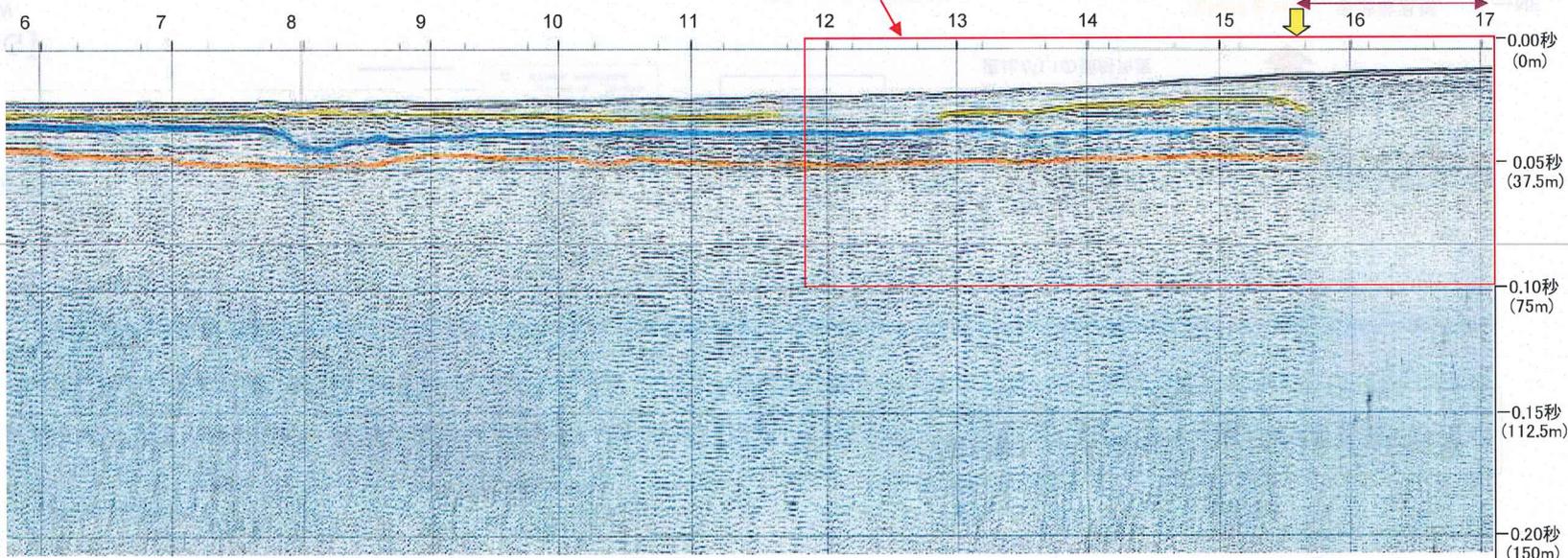
約250m

# 海上音波探査結果の再検討(B-4G:ブーマー、再解析後)



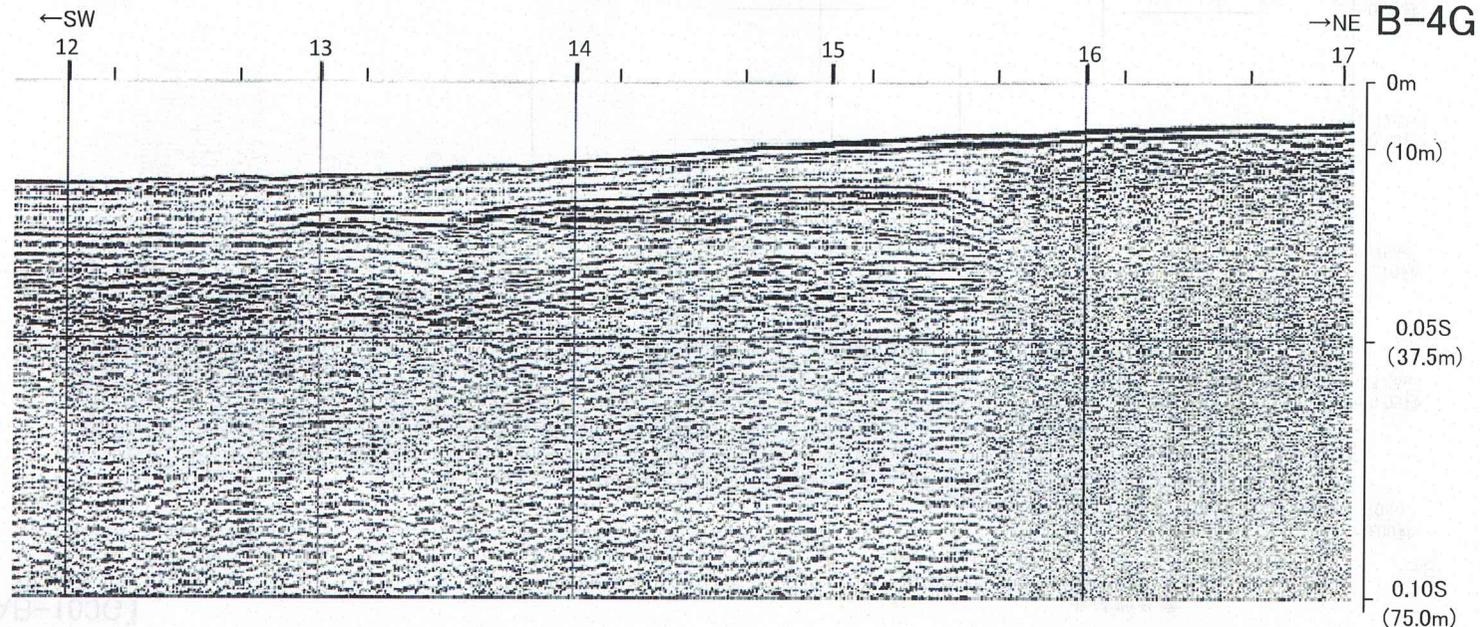
- 海上音波探査記録の再解析を行った結果、浅層部の反射面が鮮明化した。
- A層中には、チャープソナーによる海上音波探査及び柱状採泥により明らかとなったマウンド状の堆積構造(p.58)に相当する反射面が認められる。
- A層中に見られる音波散乱層に向かって下がる反射面は、堆積構造の端部に相当するものであることが明らかとなった。
- A層中の堆積構造の下位の地層には、変位・変形は認められない。

【B-4G】  
←SW

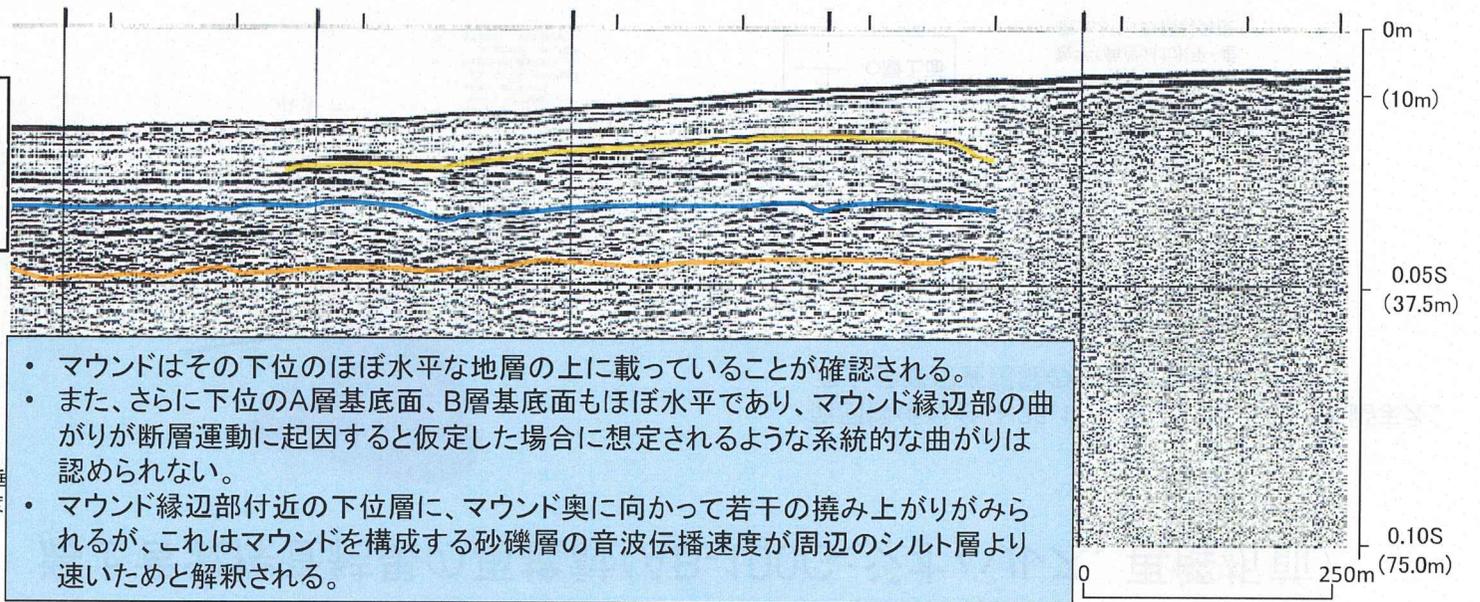
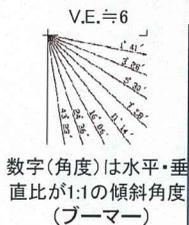


約250m

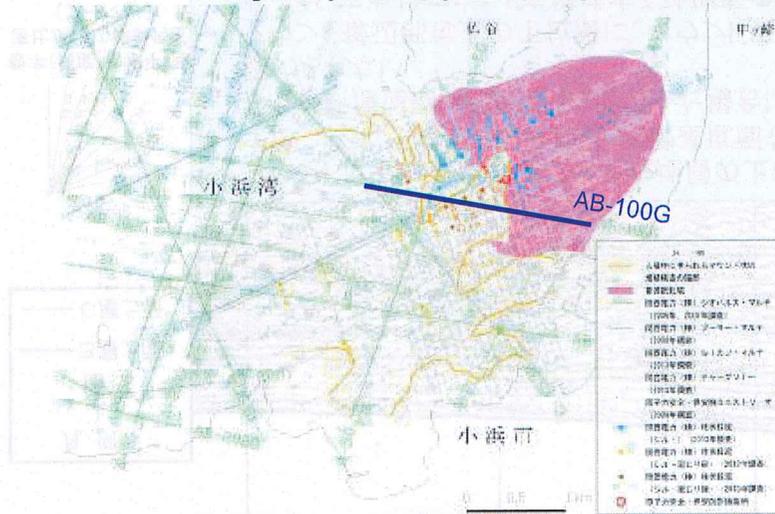
# 音波探査記録(B-4G:ブーマー)から判読されるマウンド及び下位層の堆積構造



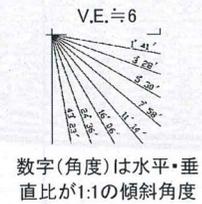
- 凡例
- マウンド上面
  - B層上面
  - C層上面



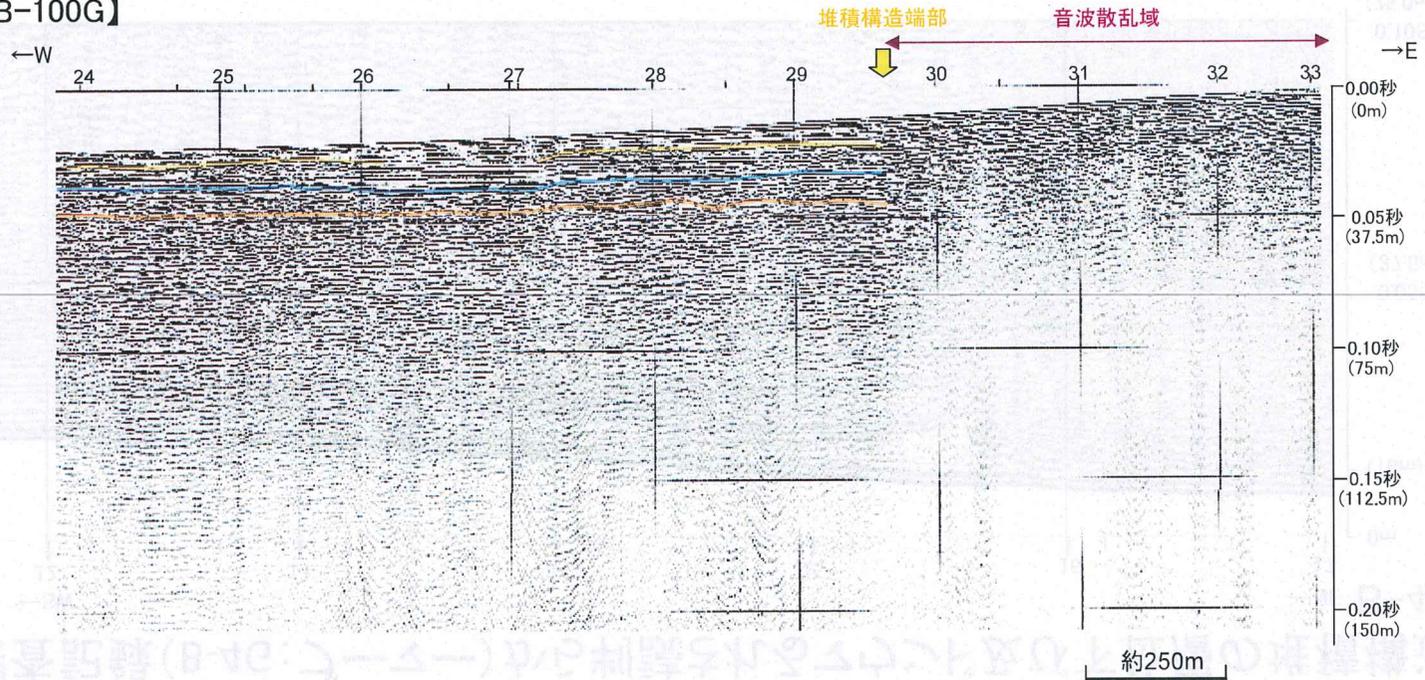
# 海上音波探査結果の再検討(AB-100G:ジオパルス、再解析前)



・前回評価会合(H25.10.2)におけるコメントを踏まえ、海上音波探査記録の再解析を実施した。

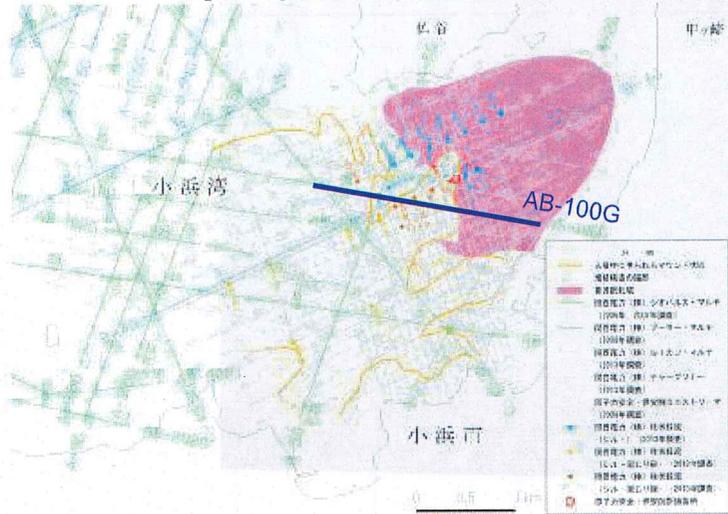


【AB-100G】

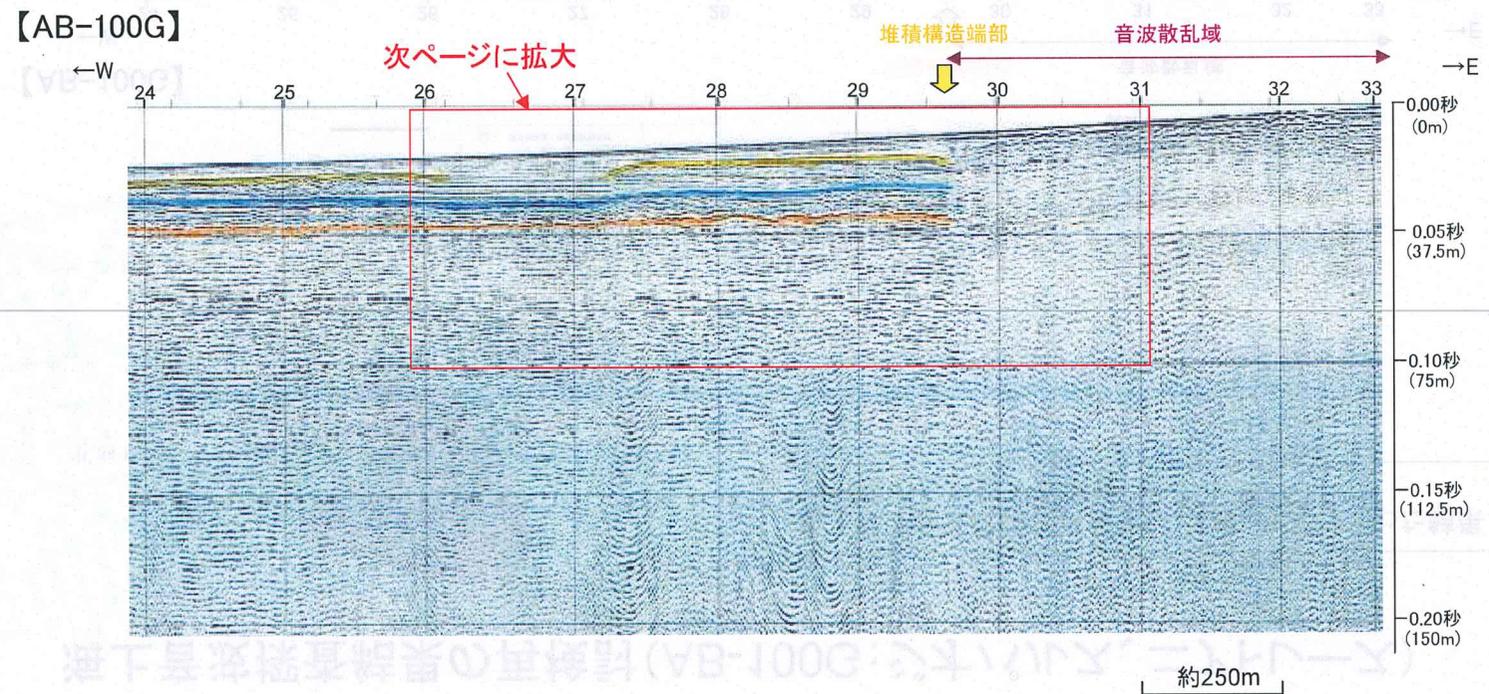




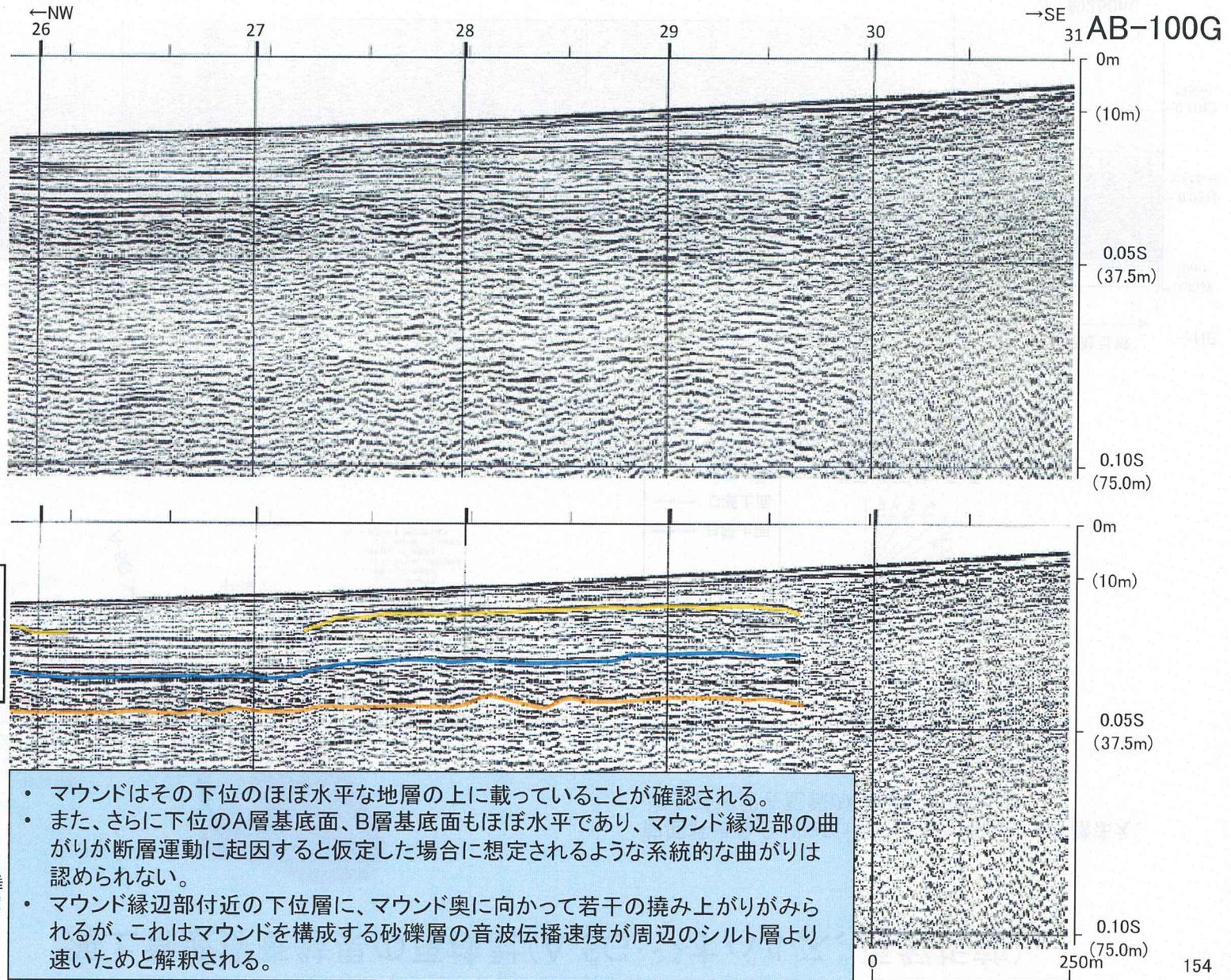
# 海上音波探査結果の再検討(AB-100G:ジオパルス、再解析後)



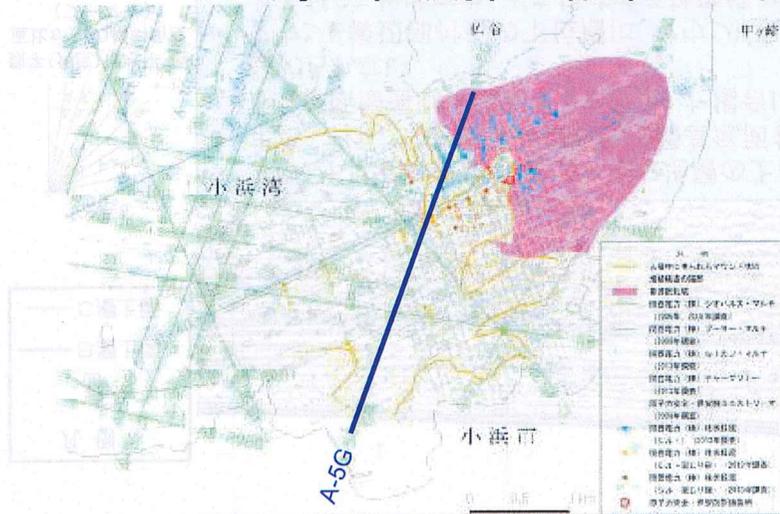
- ・海上音波探査記録の再解析を行った結果、浅層部の反射面が鮮明化した。
- ・A層中には、チャープソナーによる海上音波探査及び柱状採泥により明らかとなったマウンド状の堆積構造に相当する反射面が認められる。
- ・A層中に見られる音波散乱層に向かって下がる反射面は、堆積構造の端部に相当するものであることが明らかとなった。
- ・A層中の堆積構造の下位の地層には、変位・変形は認められない。



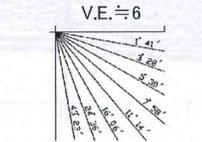
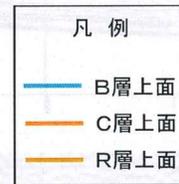
# 音波探査記録(AB-100G:ジオパルス)から判読されるマウンド及び下位層の堆積構造



# 海上音波探査結果の再検討(A-5G:ジオパルス、再解析前)



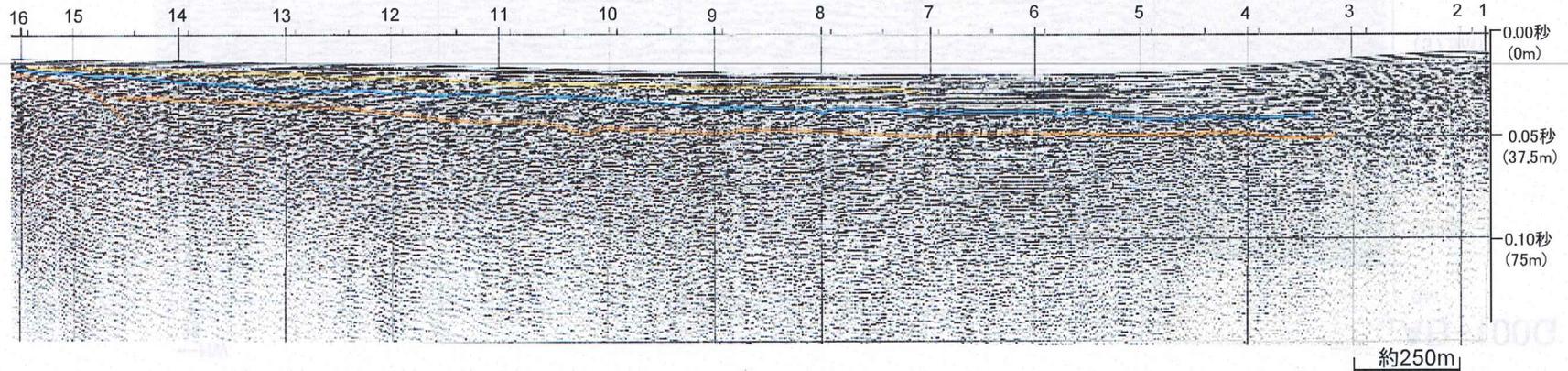
・前回評価会合(H25.10.2)におけるコメントを踏まえ、海上音波探査記録の再解析を実施した。



数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

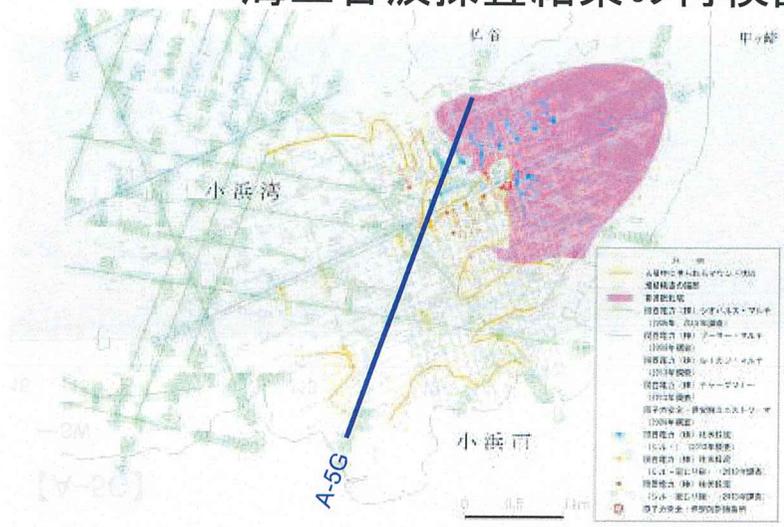
【A-5G】

←SW



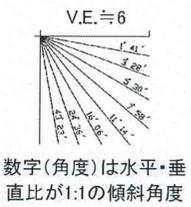
海上音波探査記録(A-5G)の再解析結果(再解析前)

# 海上音波探査結果の再検討(A-5G:ジオパルス、ニアトレース)

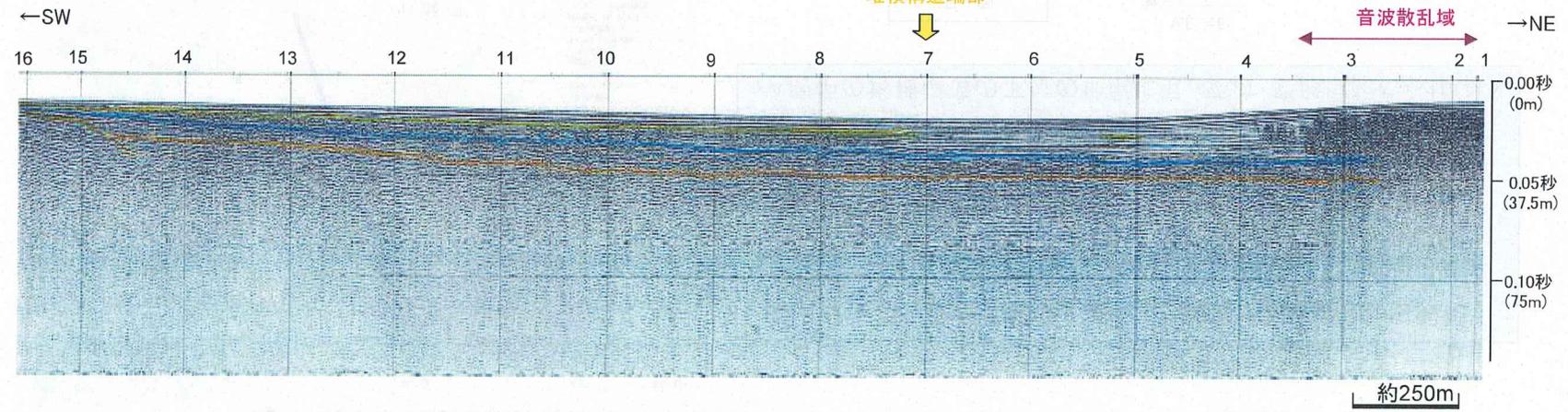


海上音波探査記録の再解析(ニアトレース)を行った結果、浅層部の反射面が鮮明化した。

- 凡例
- B層上面
  - C層上面
  - R層上面

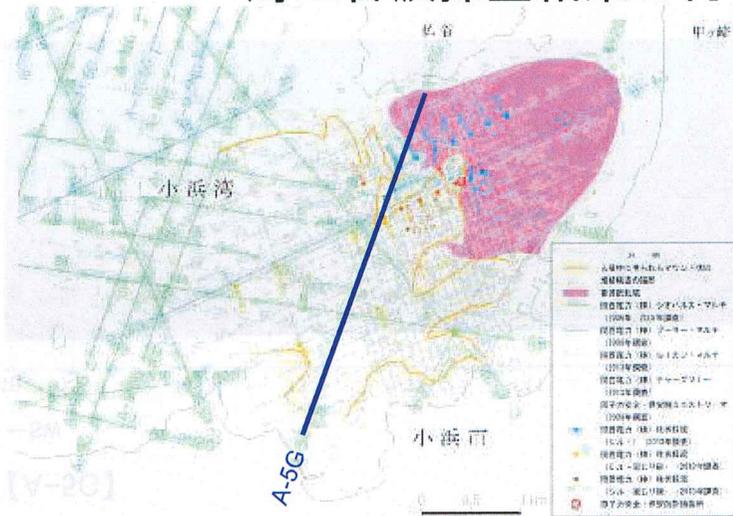


【A-5G】

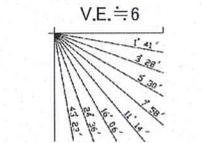


海上音波探査結果の再検討(A-5G:ジオパルス、ニアトレース)

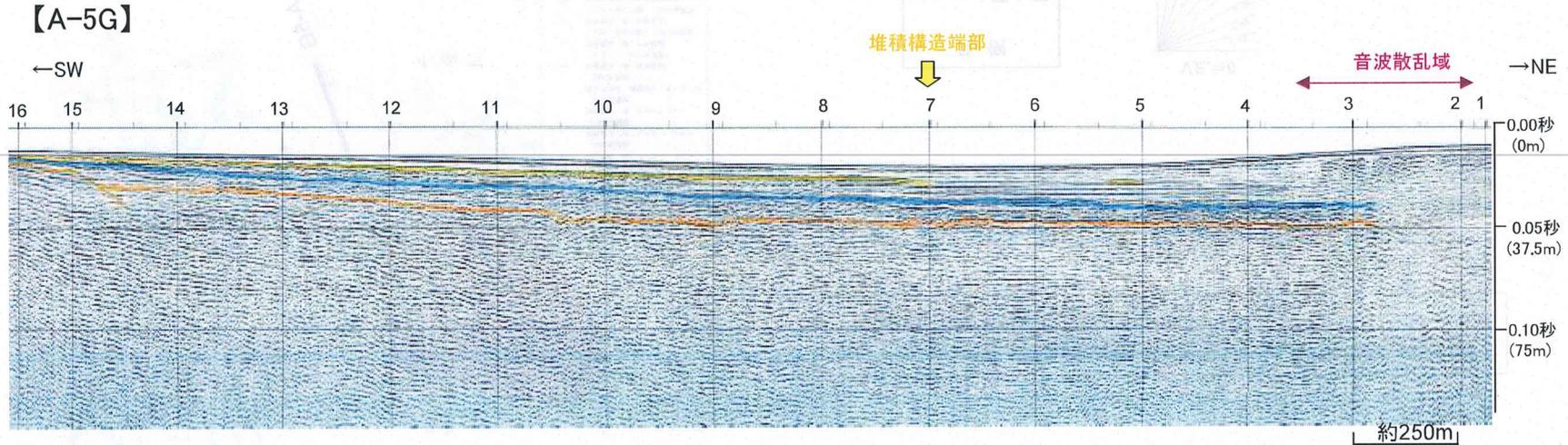
# 海上音波探査結果の再検討 (A-5G: ジオパルス、再解析)



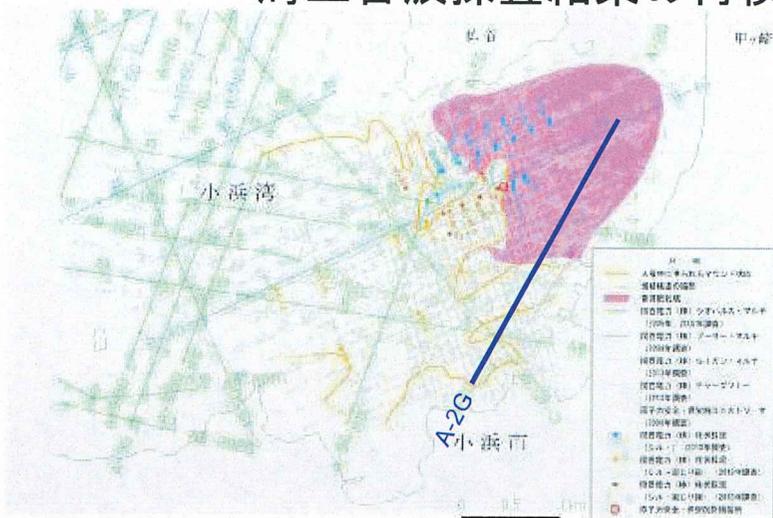
- 海上音波探査記録の再解析を行った結果、浅層部の反射面が鮮明化した。
- A層中には、チャープソナーによる海上音波探査及び柱状採泥により明らかとなったマウンド状の堆積構造に相当する反射面が認められる。
- A層中に見られる音波散乱層に向かって下がる反射面は、堆積構造の端部に相当するものであることが明らかとなった。
- A層中の堆積構造の下位の地層には、変位・変形は認められない。



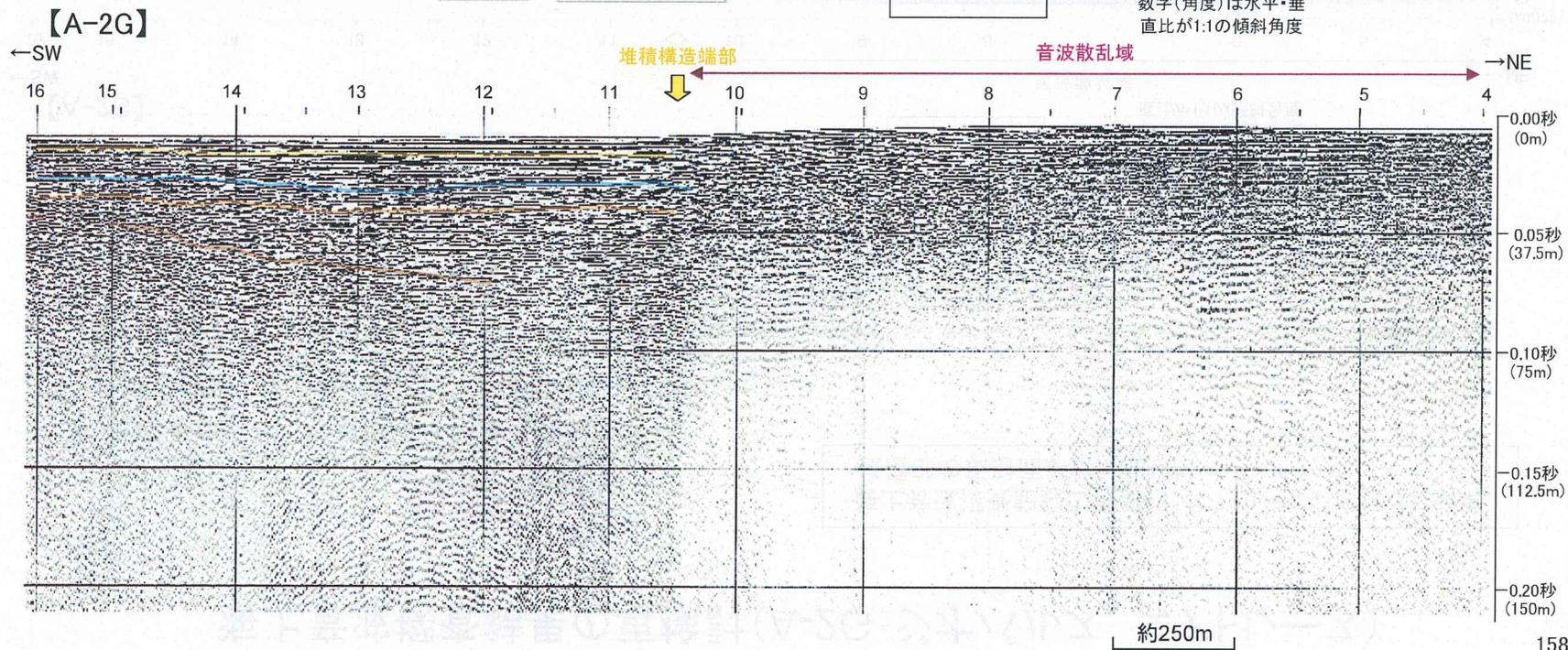
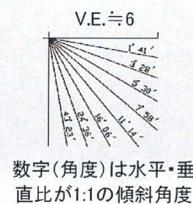
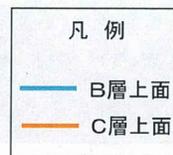
数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度



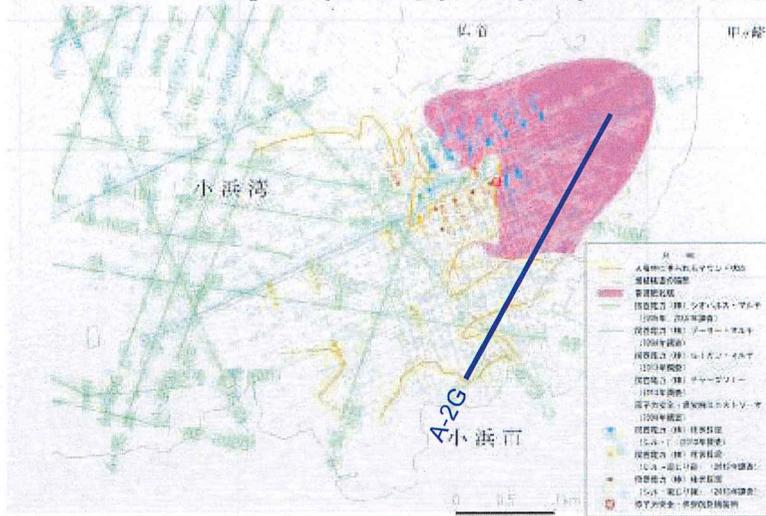
# 海上音波探査結果の再検討(A-2G:ジオパルス、再解析前)



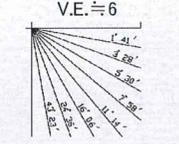
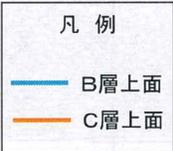
・前回評価会合(H25.10.2)におけるコメントを踏まえ、海上音波探査記録の再解析を実施した。



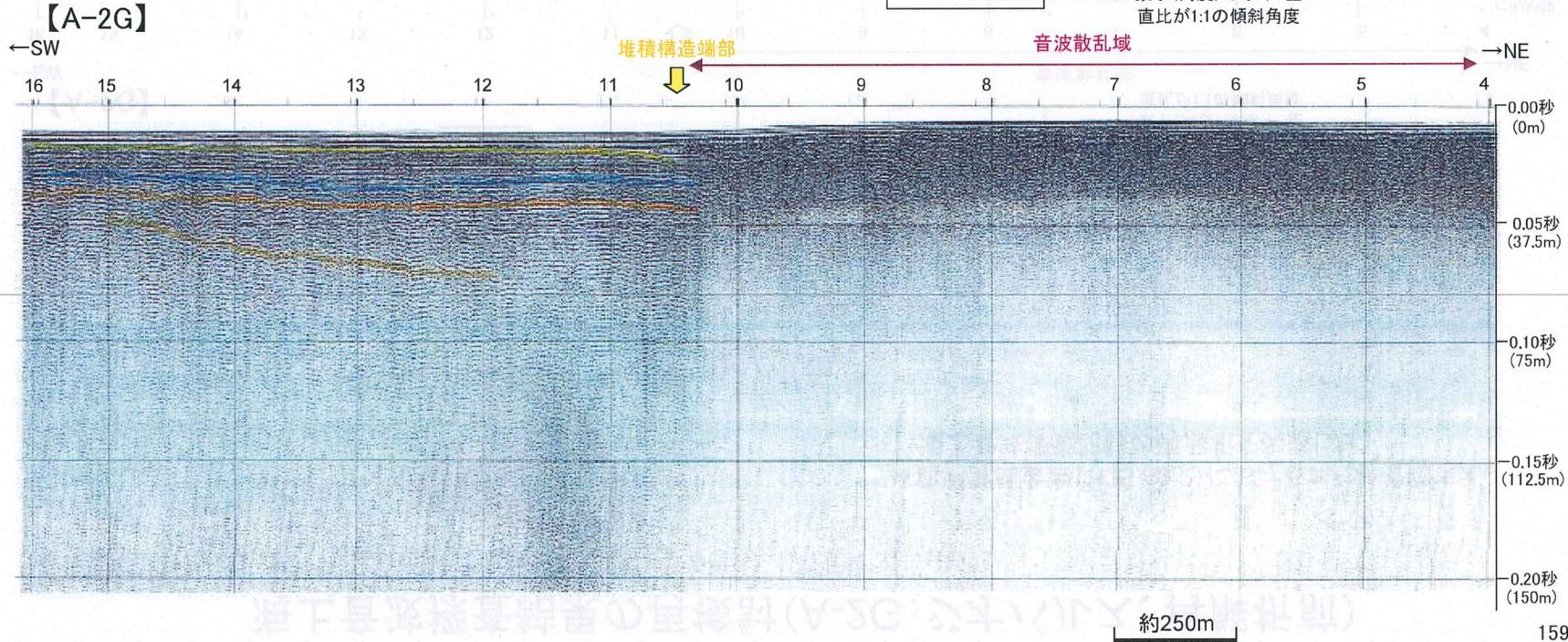
# 海上音波探査結果の再検討(A-2G:ジオパルス、ニアトレース)



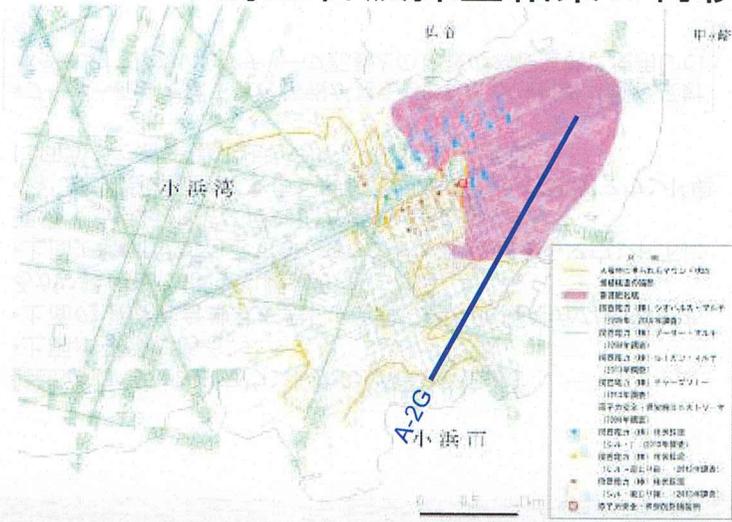
海上音波探査記録の再解析(ニアトレース)を行った結果、浅層部の反射面が鮮明化した。



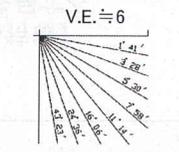
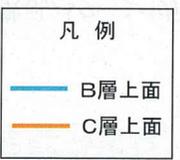
数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度



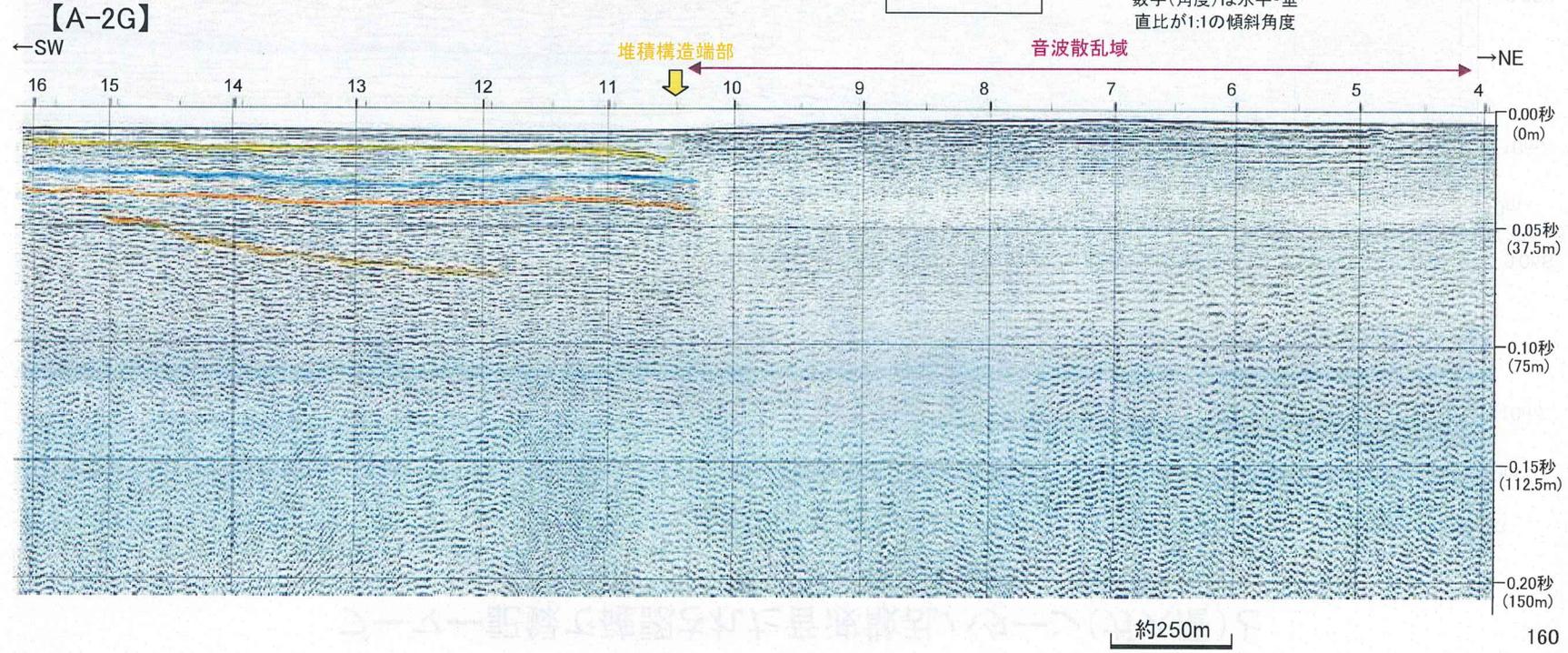
# 海上音波探査結果の再検討(A-2G:ジオパルス、再解析後)



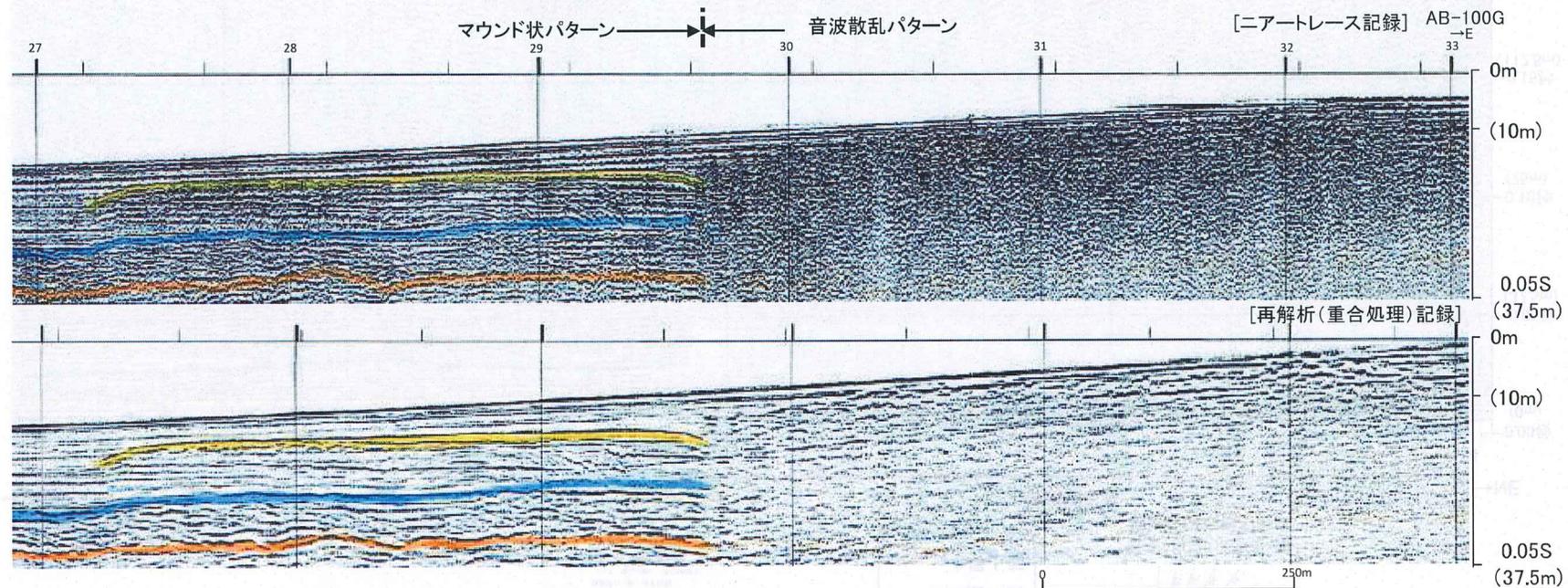
- 海上音波探査記録の再解析を行った結果、浅層部の反射面が鮮明化した。
- A層中には、チャープソナーによる海上音波探査及び柱状採泥により明らかとなったマウンド状の堆積構造に相当する反射面が認められる。
- A層中に見られる音波散乱層に向かって下がる反射面は、堆積構造の端部に相当するものであることが明らかとなった。
- A層中の堆積構造の下位の地層には、変位・変形は認められない。



数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度



## ブーマー記録で確認された音波散乱パターン(ガス層)と全反射パターン(マウンド状の砂礫)の特徴



### 【全反射パターン\*(マウンド状の砂礫)の特徴】

- 上面が平滑である。
- 上面の深度は台地状を呈し、全般に極めて緩やかな凸状であるが、縁辺部ではやや傾斜が急になる。
- 上面で強い反射を示すが、マウンド分布域外からマウンド下に連続するほぼ水平な反射面が読み取れる。
- 特に末端部付近で、マウンド下の連続する反射面がマウンド奥に向かって若干撓み上がっているように見える。

\*ブーマー記録では下位の情報が見えているため、厳密には「全反射パターン」ではないが、チャープ記録との比較の為便宜的に使用している。

### 【音波散乱パターン(ガス層)の特徴】

- 上面が平滑でなく、小起伏を呈する。
- 小起伏の頂部の深度はほぼ一定で、ある一定の層準下で揃っており、末端部では回折波を示唆する急傾斜の双曲線状の形状を示す。
- 記録断面下端まで黒く幕がかかったように見える。[ニアートレース記録]
- [再解析(重合処理)記録]では[ニアートレース記録]で見られた黒く幕がかかった範囲は白く抜けて見える。

# 音波散乱パターン(ガス層)の記録例

